

第1学年 学年・学級経営方針

1 学年経営方針（教員の共通理解）

- (1) 社会に貢献するための、社会性と学力を身につけさせる。
教育目標の3つ目にもある、社会に貢献できる生徒を育成する。
- (2) 家庭学習の習慣化を図り、自ら学習に取り組むことができる生徒を育成する。
自分に必要な学習を、自分で考えて取り組むことができることを目標とする。
- (3) 将来の目標や進路について考え、前向きに努力することができる生徒を育成する。
高校を含む上級学校への入学がゴールではないことを意識させ、自分の進路選択は、自分の将来につながるものであるという意識を持たせる。
- (4) 自己を客観視し他者との違いを理解し認め合い、自らを高められる生徒を育成する。
自己理解と他者理解。欠点を補うだけでなく、長所を正しく認識して、様々な場面でお互いに生かせるようにしたい。

2 学級経営方針（生徒に望む姿）

- ①あきらめずに継続して学習に取り組める生徒。
- ②苦手なことや根気のいることに対しても、粘り強く取り組むことができる生徒。
- ③学級や学校での仕事、行事での役割などで責任ある行動が選択できる生徒。
- ④互いの違いを理解し、尊重することができる生徒。

3 2を達成するための具体的手だて

	生徒の活動	方針の項目	ねらい
1 学 期	日常（2、3学期も同様） 母島移動教室 定期考査（2、3学期も同様） 遠泳大会	2-①	学習習慣の定着。
		2-③	集団での役割を責任をもって実行できる。
		2-①	課題を設定して探求し、発表できる。
		2-③	宿泊行事での自らの役割に責任をもつ。
		2-④	協力し合い、より良い集団を作ろうとする。
		2-①	計画的に学習し、学力の定着、向上を図る。
2 学 期	小中高連合運動会 東平外来種駆除 学習発表会 キャリア教育	2-②	全力で取り組むことができる。
		2-③	小学生とは違う立場で運動会運営の仕事に責任をもつ。
		2-④	得手不得手を理解しお互いに協力しあう。
		2-③	与えられた仕事に責任をもち最後までやり抜く。
		2-①	総合的な学習の時間の成果をまとめ、発表できる。
		2-④	学年の発表を完成させるため、互いに協力し合うことができる。
3 学 期	百人一首大会 ロードレース大会 卒業式	2-①	各自の目標に向け、学習に取り組むことができる。
		2-②	練習に真面目に取り組む、記録の向上・変化から達成感を得ることができる。
		2-③	卒業を喜ぶとともにお互いに励まし合い、在校生としての自覚をもつ。

4 学年目標、学級目標

「One for class, class for one」 「何事にもチャレンジするクラス」